

# 環 境 白 書

【平成23年度報告】

沖 縄 県

## 環境白書の発行にあたって

沖縄県は、亜熱帯海洋性気候の下、美しいサンゴ礁が発達した青い海と多様な野生生物が生息・生育する緑豊かな島々から構成されております。

このかけがえのない豊かな自然環境を守り育て、将来の世代に引き継いでいくため、県では、平成15年に沖縄県環境基本計画を策定し、「循環型の社会づくり」、「人と自然の共生」、「環境保全活動への積極的な参加」、「地球環境の保全」を基本目標に掲げ、その達成に向けた各種施策に取り組んできました。

平成25年4月からスタートする第2次沖縄県環境基本計画では、新たな基本目標として「環境と経済が調和する社会づくり」についても積極的に推進し、豊かな自然環境に恵まれた安全・安心でやすらぎと潤いのある沖縄県の実現に向け、沖縄21世紀ビジョン基本計画を環境の側面から推進していくこととしております。

本県における環境の現況としては、依然として赤土等の流出による河川・海域への影響、米軍基地における騒音問題、廃棄物の不適正処理、外来生物による生態系の攪乱、温室効果ガスの排出量増大などが課題となっており、これらの問題に適切に対応するには、行政のみでなく、県民、事業者、観光客等すべての主体が沖縄県の環境の現状を把握し、環境へ配慮した取組が行われることが重要です。

この白書は、平成23年度の沖縄県の環境の現状と対策をまとめたものであり、本書が県民の皆様の環境への関心と理解を深め、環境保全活動の取組に役立てていただければ幸いです。

平成25年3月

沖縄県知事 仲井眞 弘多